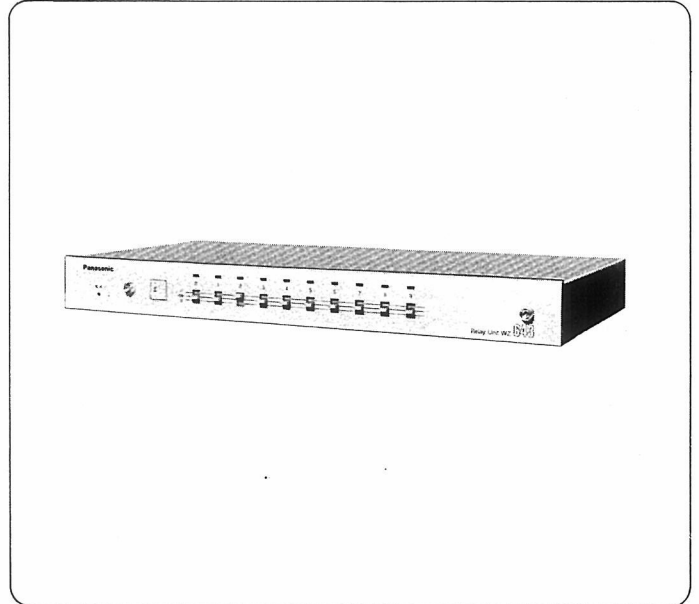


増設リレーユニット

品番 WZ-643

取扱説明書 (工事説明付)

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

上手に使うって上手に節電

このたびは、パナソニック 増設リレーユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

目次

安全上のご注意	I
設置上のお願い	II
特長	II
各部の名称と働き	1
プログラムコントローラとの接続のしかた	2~5
■接続のしかた	2
■ユニット番号の設定について	3
■使いかた	4~5
1 通常の使いかた	4
2 特殊な場合の使いかた	5
外部機器の接続のしかた	6~8
■接続図	6
■制御出力の接続	7~8
出力モードスイッチの使いかた(手動スイッチの使いかた) ..	9
端子カバーの取り付けかた	9
EIAラックへの収納のしかた、スタッキングのしかた ..	9
定格・付属品	10
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



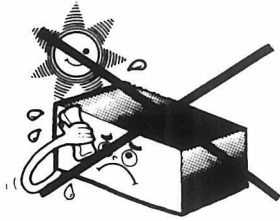
落下などでけがの原因となります。

禁止

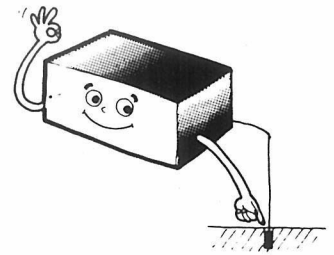
設置上のお願い

- 電源はAC 100Vです。
通常の動作をさせるためには必ずAC 100Vが必要となります。常にAC 100Vの出ているコンセントまたは配電盤に接続してください。

- 本機の設置場所は直射日光の当たるところや温風吹出口近くは避けてください。湿気、ホコリ、振動の多い場所で使用すると故障の原因になることがあります。



- アースは必ず接続してください。
アースを接続しないと機器が故障することがあります。なおガス管などを利用することは危険ですから絶対にしないでください。



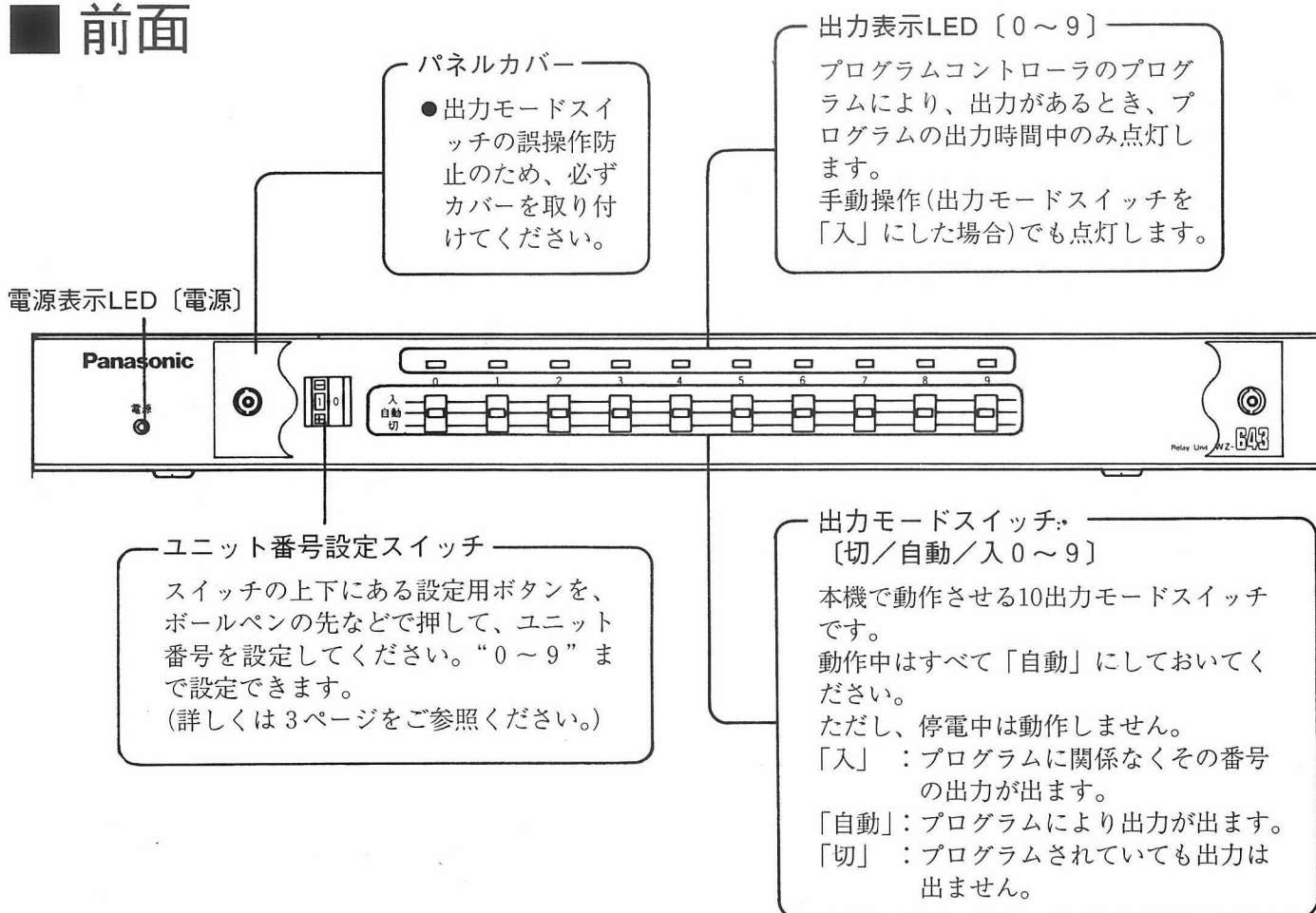
- 機器の接続の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

特長

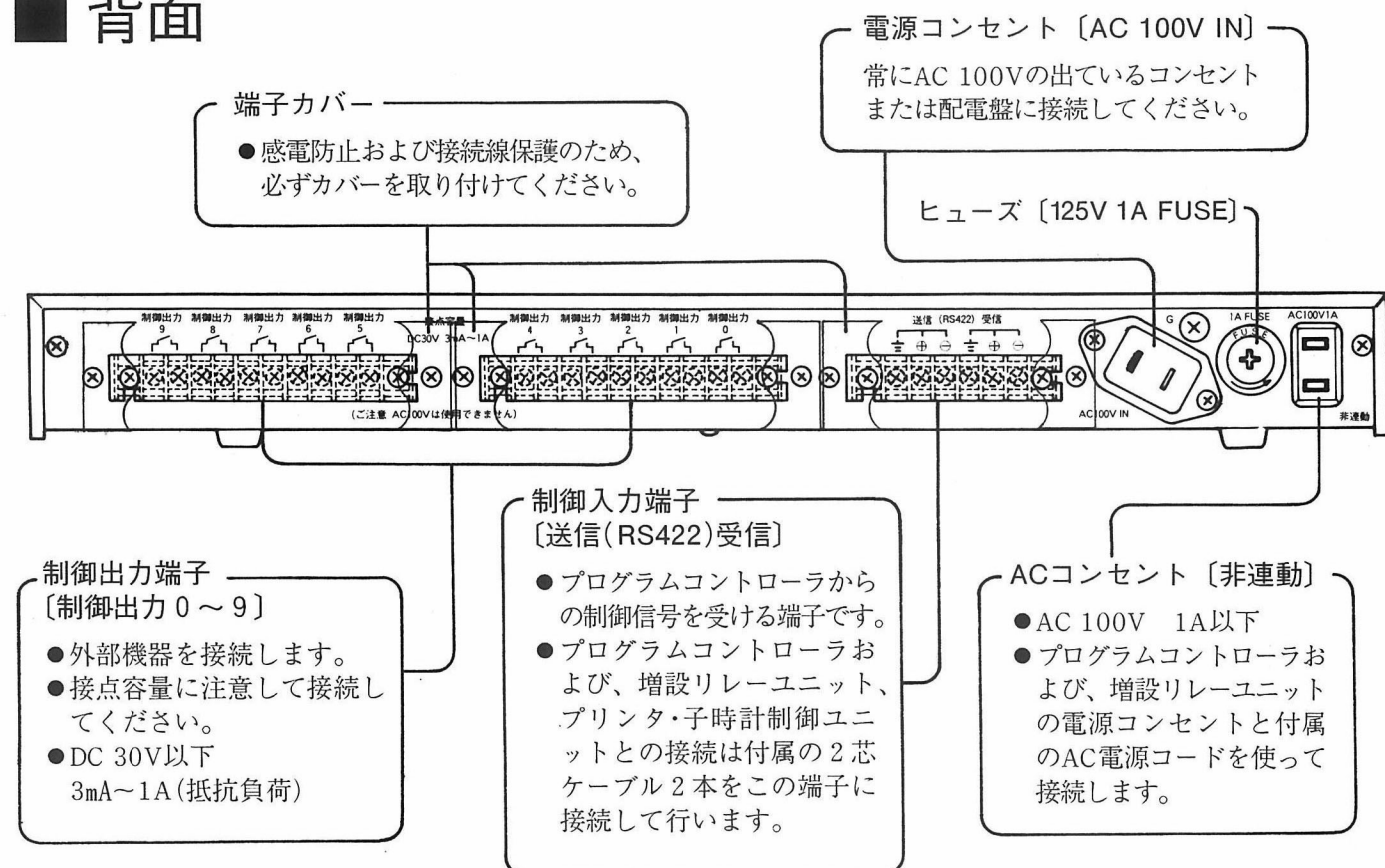
- 本機は、プログラムコントローラWZ-640に10台まで接続でき、出力数を99回路(一部本体と重複有り)まで増設することができます。
- 別売のラックアングルでEIA規格のラックに収納することができます。
- 付属のスタッキングアングルで電子チャイムやBGM演奏装置などの上に積み重ねることができます。
- 本機の出力は各系統とも無電圧メイク接点出力で、DC 30Vの3mA~1A(抵抗負荷)の容量があります。

各部の名称と働き

■ 前面



■ 背面



プログラムコントローラとの接続のしかた

■ 接続のしかた

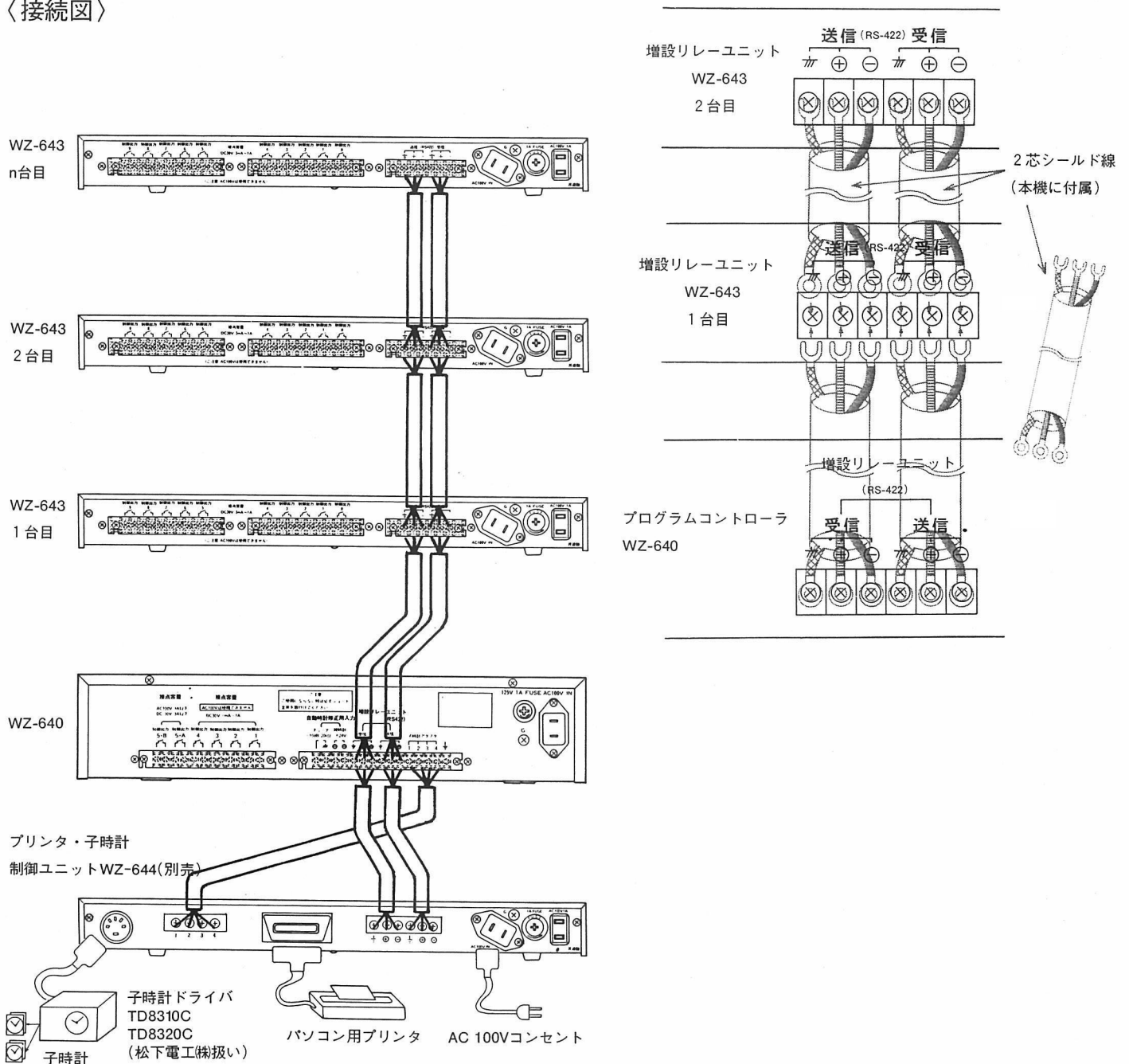
本機に付属している2芯シールドケーブル2本を使って下記の通り接続します。

プログラムコントローラの受信端子と増設リレーユニットの送信端子、プログラムコントローラの送信端子と増設リレーユニットの受信端子を接続します。
増設リレーユニット間は、送信端子同士、受信端子同士をそれぞれ接続します。

ご注意

- 端子のグランド(⊕)、十、一の接続を正しく行ってください。
- 接続後は必ず端子カバーを取り付けてください。

〈接続図〉



■ ユニット番号の設定について

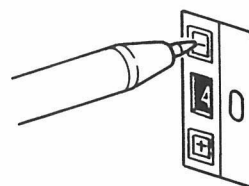
本機は、プログラムコントローラWZ-640(別売)に最大10台まで接続できます。
接続時は、各増設リレーユニットに、ユニット番号(0～9)を設定します。

● 設定のしかた

- 前面にあるユニット番号設定スイッチのボタンをボールペンの先などで押して設定します。

ご注意

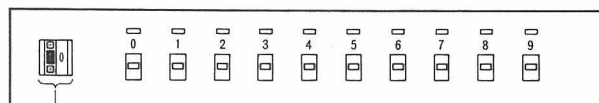
芯折れや粉末の発生するシャープペンシル、鉛筆などは故障の原因となりますので避けてください。



- ユニット番号は、1番から(特殊な場合は0番から)、間をあげずに設定します。
- ユニット番号設定スイッチとその隣の“0”とをあわせて読むことにより、そのユニットの制御出力が何番台であることを表します。

【例】 ユニット番号を“1”に設定した場合

このユニットの制御出力は10番～19番までとなります。



(10番台のユニットであることを示します)

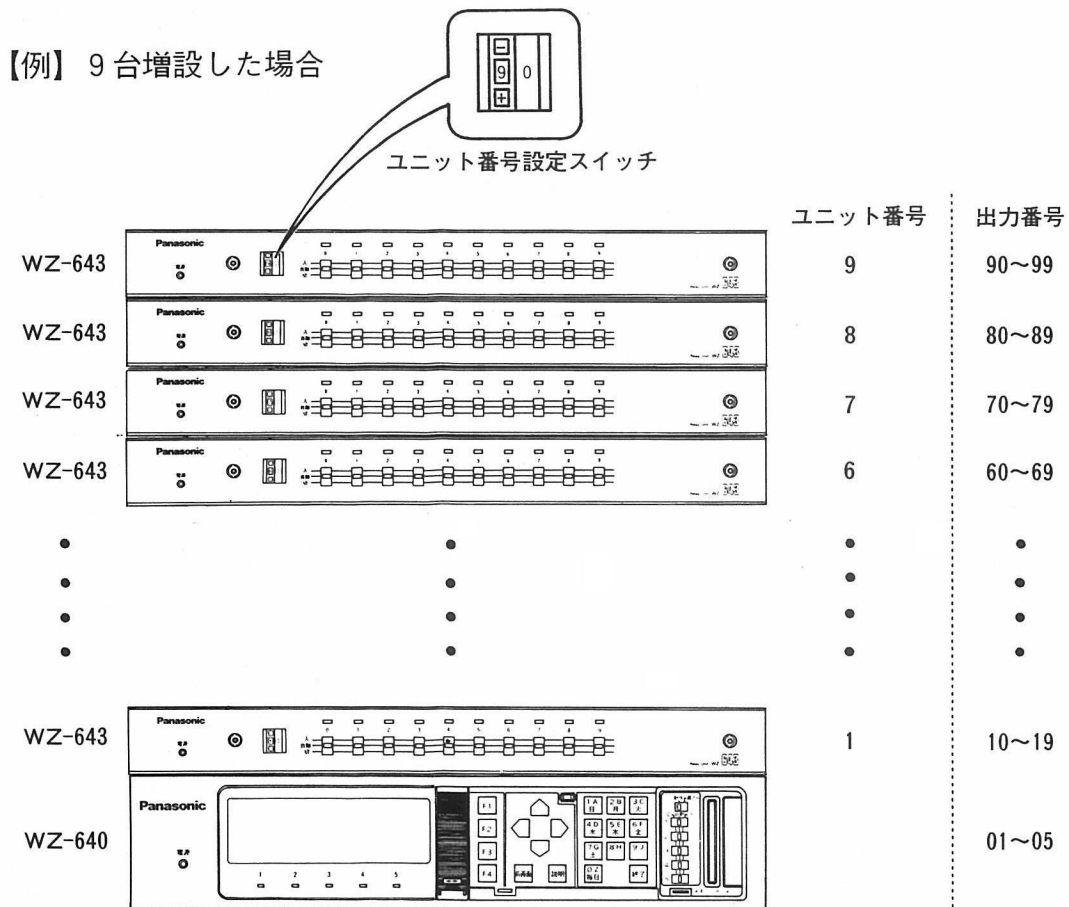
- ユニット番号を変更する場合は、必ずその増設リレーユニットの電源を切ってから行ってください。
- ユニット番号を“0”に設定すると、特殊な動作をします。特に理由のない限り、ユニット番号は“1”から順番に設定してください。

■ 使いかた

1 通常の使いかた(ユニット番号1番～9番にした場合)

- プログラムコントローラWZ-640(別売)に、本機を9台まで接続し、制御出力を95個にすることができます。
(増設リレーユニット90個+プログラムコントローラ5個)
- ユニット番号を1番から9番まで間をあげずに設定します。

● ご注意 ●
出力番号06～09はありません。

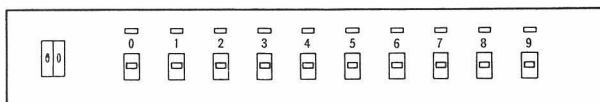


2 特殊な場合の使いかた(ユニット番号0番にした場合)

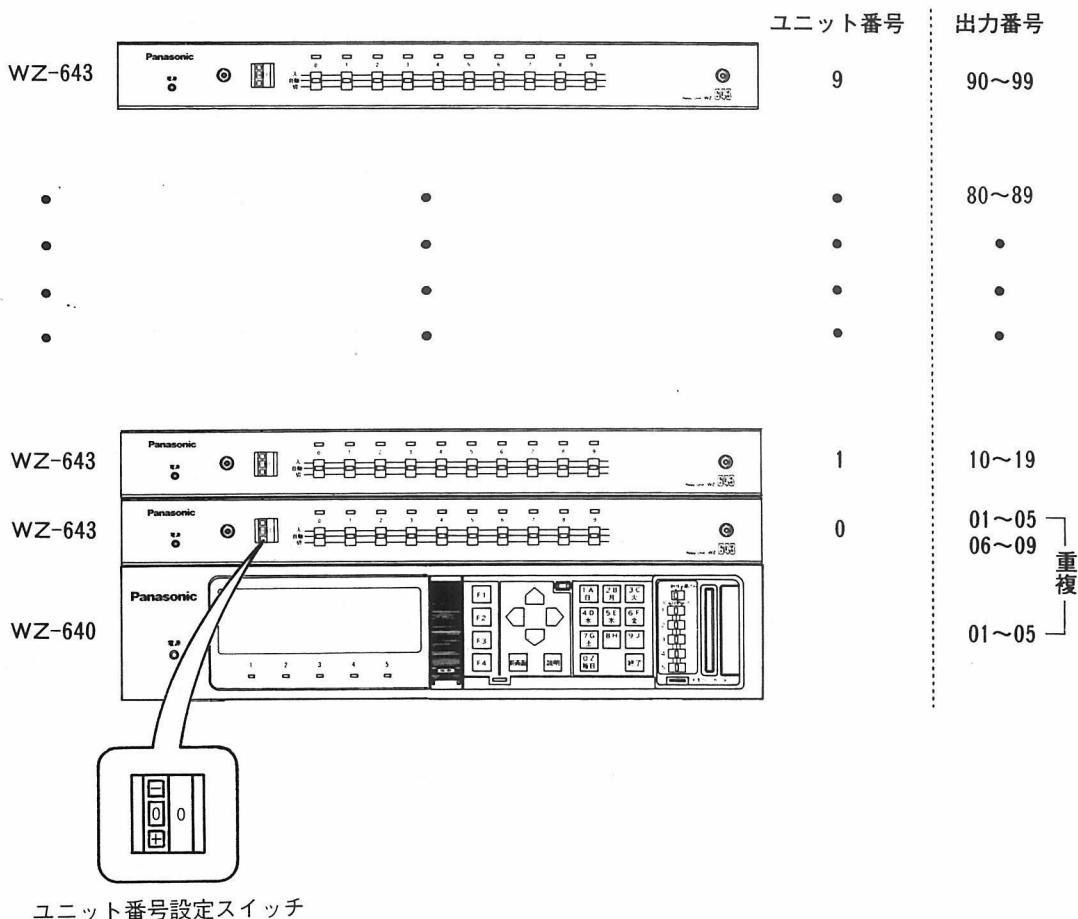
- 制御出力が95個以上必要な場合や、1プログラムで2つの制御出力を同時に動作させたい場合、ユニット番号“0”の増設リレーユニットを増設します。
この場合は、増設リレーユニットを最大10台まで接続できます。

ユニット番号“0”のリレー出力でプログラム動作をさせる場合

- ① “00”は動作しません。
- ② “01～05”は、プログラムコントローラの“01～05”と同時に動作します。
- ③ “06～09”は、個別に動作します。



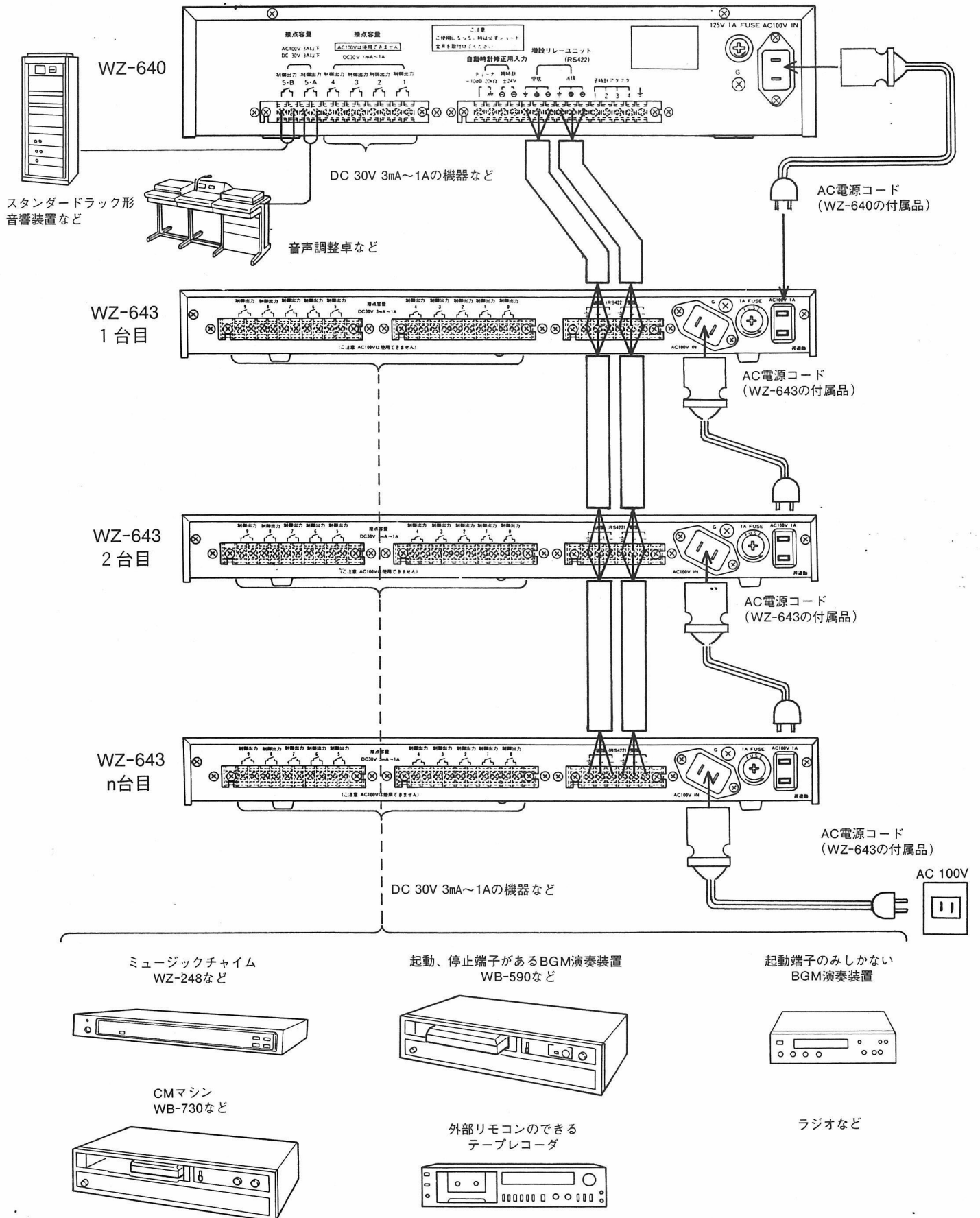
【例】“0番”の増設リレーユニットを追加し、10台増設した場合



外部機器の接続のしかた

プログラムコントローラWZ-640+増設リレーユニットWZ-643[10台]で99機種の外部機器が接続できます。

■ 接続図



接続のしかた

■ 制御出力の接続

ご注意

- 接点容量に注意して接続してください。
制御出力 0～9 DC 30V 3mA～1A (抵抗負荷)

① アンプの制御

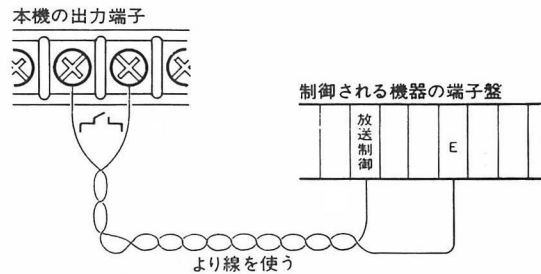
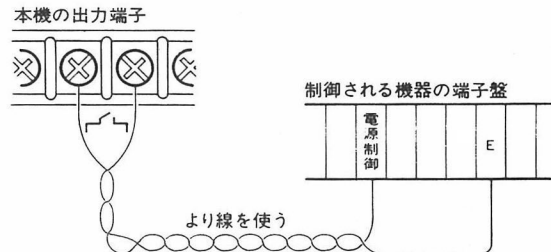
● 調整卓、防災アンプ、ラックアンプの場合

① 電源制御(電源を入れる制御)

調整卓、防災アンプ、ラックアンプの端子盤には、電源制御の端子があります。電源制御とアースの端子を本機の出力端子に接続します。

② 放送制御(電源を入れ、一斉放送の制御をする)

調整卓、防災アンプ、ラックアンプの端子盤には、放送制御の端子があります。放送制御とアースの端子を本機の出力端子に接続します。



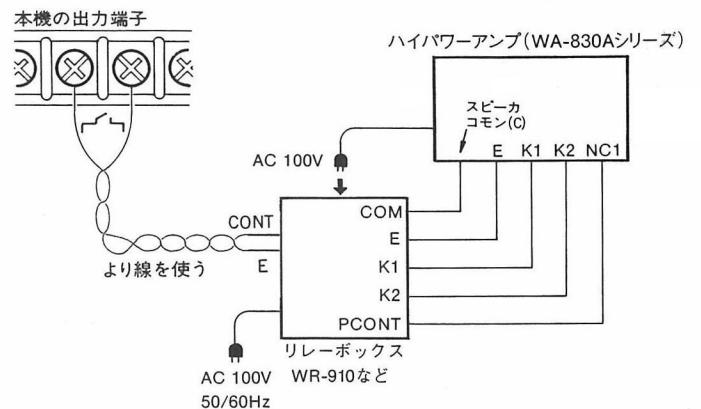
● パナアンプ、ハイパワーアンプの場合

① 放送制御(電源を入れ、一斉放送の制御をする)

リレーボックスWR-910などを使って接続します。本機の出力端子をリレーボックスのCONT(放送制御)とアースに接続します。

ご注意

- パナアンプ、ハイパワーアンプ内の改造が必要です。一斉リモコンをする場合と同じように改造してください。詳しくはアンプまたはリレーボックスの工事説明書をお読みください。
- リレーボックスの電源は常時AC 100Vの出ているコンセントまたは、配電盤に接続してください。

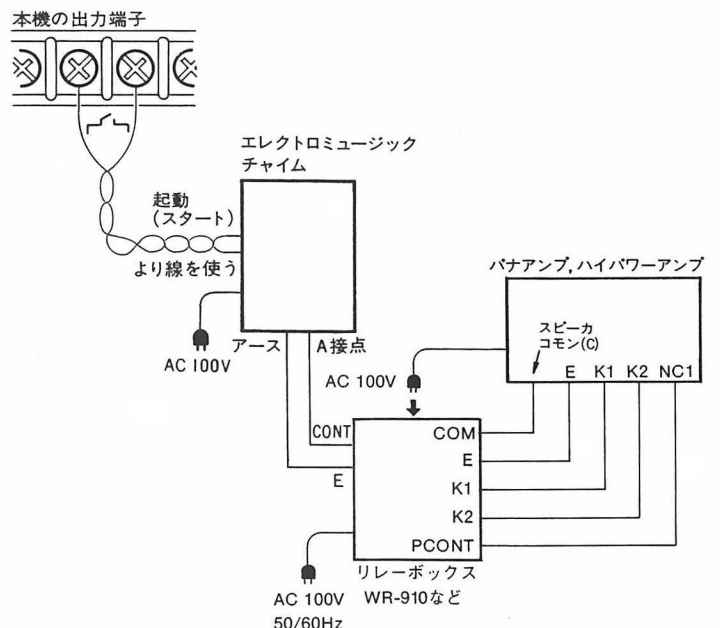


② チャイムの制御

本機の出力端子をチャイムの「起動」の端子に接続します。エレクトロミュージックチャイムの場合は、曲目により起動の端子を選んでください。チャイムとアンプの接続は、チャイムまたはアンプの工事説明書をご参照ください。

プログラムの書きかた

チャイムは、約1～5秒間の短絡信号(メイク接点)で動作し、その後、曲がおわるまでは、チャイムが自己保持しアンプを制御しつづけます。



③ BGM演奏装置、CMマシンの制御

本機の出端子をBGM演奏装置およびCMマシンの起動(スタート)端子に接続します。

停止は、カートリッジテープに貼ってあるセンシング箔で止まります。

BGM演奏装置WB-590、WB-808、CD-BGMプレーヤWB-610、615、650の場合は本機のもう一つの出力端子を使って停止させることもできます。

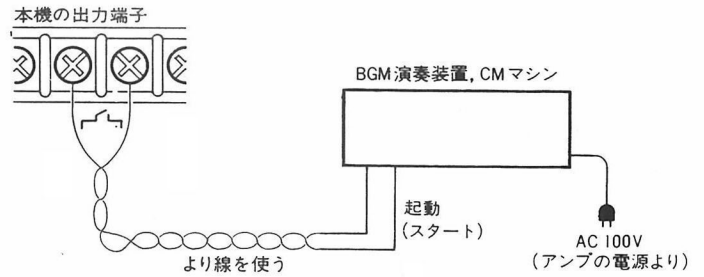
プログラムの書きかた

1～5秒間の短絡信号(メイク接点)で動作し、カートリッジテープに貼ってあるセンシング箔で止まります。

アンプの電源は、別の出力端子を使って制御します。

ご注意

BGM演奏装置、CMマシンの電源はアンプからとって、電源スイッチは入れたままにし、カートリッジテープを差し込んでおいてください。



④ テープレコーダの制御

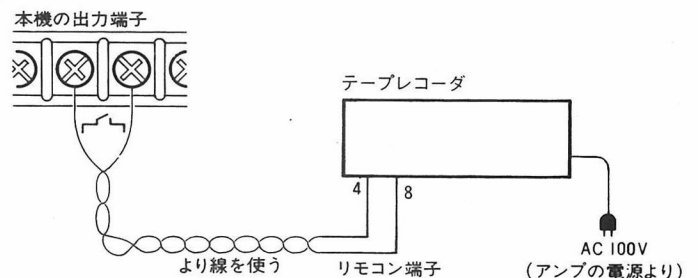
外部リモコンのできるテープレコーダをお使いください。接続はテープレコーダの回路図をご参照のうえ接続してください。回路はテープレコーダにより異なります。

プログラムの書きかた

1～5秒間の短絡信号(メイク接点)で動作します。動作時間はテープの長さによります。

ご注意

- テープレコーダの電源はアンプに接続して電源スイッチは入れたままにしておいてください。
- テープレコーダの種類により、短絡信号では動作しないものや、複数の信号で動作するものは使用できません。



⑤ ラジオの制御

電源を入れれば動作します。動作時間は電源「入」の時間で決まります。

ラジオの場合、デジタル機器特有の高周波ノイズを受ける恐れがありますので必ずレレー回路を通してください。また、できるだけデジタル機器から離してください。

ご注意

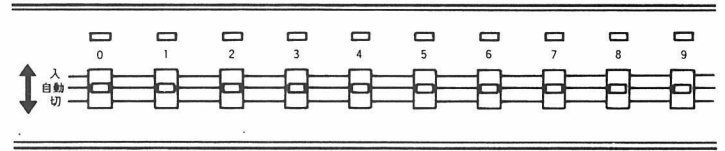
以上の例は一般的な動作のさせかたの例です。詳しくは各機器の取扱説明書および工事説明書をご参照ください。

出力モードスイッチの使いかた(手動スイッチの使いかた)

このスイッチはプログラム内容とはまったく無関係に出力リレーを入/切させるためのスイッチです。プログラムで指定した時刻以外にリレーを入(切)にさせたり、指定した時刻になってもリレーを入(切)にさせたくないような場合にお使いください。

なお、このスイッチは10個の出力リレーを別々に入、切させることができます。

- スイッチを入にすればプログラム内容とは無関係にそのリレーを入にできます。
- スイッチを自動にすればプログラムによりリレーを入/切できます。
- スイッチを切にすればプログラムで指定した時刻になってもそのリレーは入になりません。



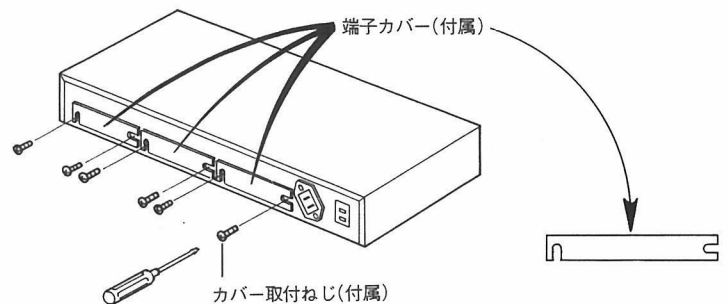
ご注意

- 通常プログラム動作中は、必要なとき以外は必ず出力モードスイッチを“自動”の位置にしておいてください。入または切になっているとプログラムで指定した時刻になっても動作状態がかわらなくなります。
- 出力モードスイッチは停電時には動作しません。

端子カバーの取り付けかた

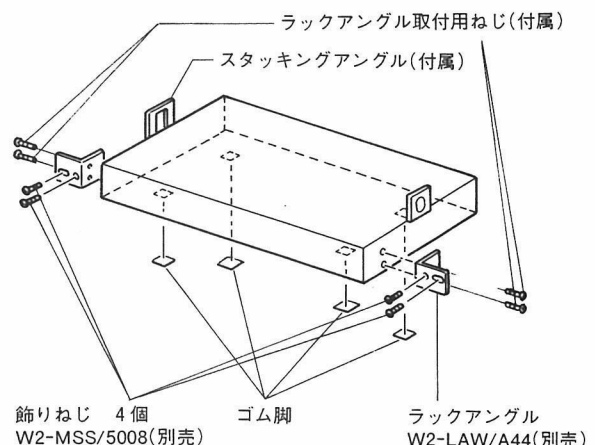
ご注意

- 工事後は必ず付属の端子カバーをねじ止め(カバー取付ねじ(付属)使用)してください。



EIAラックへの収納のしかた、スタッキングのしかた

- 底面についているゴム脚(4ヶ所)を取りはずしてください。
- 別売のラックアングルW2-LAW/A44を使うことによりEIAラックに収納することができます。この場合、別売の飾りねじW2-MSS/5008が4個必要です。
- また、付属のスタッキングアングルを使うことにより、電子チャイムやBGM演奏装置WB-730、WB-590、ミュージックチャイムWZ-248、255、CD-BGMプレーヤWB-610、615、650に積重ねることができます。



定格・付属品

■定格

電 源：AC 100V 50/60Hz

消費電力：約8W

出力部

出力数：10回路 ※2

接点容量：DC 30V以下

3mA~1A(抵抗負荷)

接点寿命：10万回 ※3

外部制御：プログラムコントローラWZ-640に
接続して使用します

手動制御：各出力ごとに制御可能

寸 法：420(幅)×46(高さ)×225(奥行)mm
(高さはゴム足2mmを含む奥行はパ
ネルカバー、端子カバーを含まず)

質 量：約3.3kg

仕 上 げ

パネ ル：AVアイボリー近似色塗装

カバ ー：エリオ銅板 AVアイボリー近似色

- ※1 EIAラックに収納するときは、別売のラックアングルW2-LAW/A44と飾りねじW2-MSS/5008が2個必要です。
- ※2 ユニット番号を0~9に設定。ただし0に設定した場合、出力番号00は使用不可、01~05は本体出力と同時に動作します。
- ※3 10万回をこえる場合、接点出力をオープンコレクタ出力に改造することができます。詳しく販売店にご依頼ください。

■付属品

AC電源コード(2.6m)	1	パネルカバー	1
ラックアングル取付用ねじ(M4×10)	4	端子カバー	3
スタッキングアングル	2	カバー取付ねじ	6
外部制御用ケーブル	2		

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！

■保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

0120-878-410 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくための、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WZ-643
	販売店名	電話 () -				

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号